

1. 事業報告

平成 29 年度通常総会を行いました

2017年6月28日（水）16時より、福井パレスホテル3階鳳凰の間において『福井大学産学官連携本部協力会平成29年度通常総会』を行いました。

本総会には116名の参加があり、提示された全ての議案は承認可決されました。この総会の日をもって、8年間ご尽力いただきました田中保氏（株式会社田中化学研究所取締役会長）から、江守康昌氏（日華化学株式会社 代表取締役社長）に、会長交代しました。

通常総会後の記念講演では、福井のお米の新ブランド品種開発に取り組まれている清水豊弘氏（福井県農業試験場場長）に『いちほまれ開発に込めた思い』というテーマで、福井コシヒカリの歴史、水稻の品種の絞り込み、「いちほまれ」というネーミング、品種開発、おいしさの追求、ブランド化に至るまでの調査分析や工夫した点などについてお話いただきました。その後、実際に会場内において「いちほまれ」の試食会が行われました。



(通常総会の様子)

2. 事業報告

水曜測定会を行いました

2017年6月14日から7月19日までの各水曜日に、ふくい産学共同研究拠点及びオープン R&D ファシリティにて『水曜測定会』を実施しました。本講座では、基礎講座、実習講座、高難度機器講座の3講座が開講されました。

基礎講座では、まず分析入門として、「分析機器の紹介や選び方」、「分析の流れ」について説明を行いました。つぎに、具体的な操作方法等として、全自動多目的X線回析装置を利用した無機物の試料を、赤外分光やGC-MSを利用した有機物の試料を扱った結果習得に関する解説および実習が行われました。

実習講座等では、高分解能や高精度なマッピング像が短い時間で習得できる「電界放出型走査電子顕微鏡 (FE-SEM)」の扱いや、資料の結果習得に関する解説と実習が行われました。

参加した方々は、質問やメモを取り、熱心に説明を聞き、実習に取り組まれていました。



(水曜測定会の様子)

3. 活動報告

学内者対象の測定装置の講習を行いました

2017年7月12日（水）10時より、ふくい産学

共同研究拠点及びオープン R&D ファシリティにて『学内者を対象とした個別の測定装置の指導』が行われました。

ふくい産学官共同研究拠点に整備されている「全自動多目的 X 線回析装置」の技術習得のために、装置の性能、取扱い方、パソコンの調整、データ解析の比較について、解説および実習が行われました。

参加した方々は、積極的に試料の条件、精度、応力の測定等に関する質問をして、実習に取り組まれていました。



(測定装置の講習の様子)

4. 活動報告

学生起業サークル支援事業の支援先が決まりました

本年度から始まった(株) ミッション起業推進基金事業より、『学生起業サークル支援事業の支援先』が決定しました。

支援サークルは、

- ・福がこいプロジェクト (代表 寶生拓巳 / 大学院工学研究科修士 1 年)
 - ・ナガレボシ Shooting Star (代表 横井健一郎 / 医学部 5 年)
 - ・学生団体 with (代表 堀江理沙 / 工学部 3 年)
- です。

各団体は、今後、支援額 (最大支援額 20 万円) を基に、起業に向けた活動が行います。

福がこいプロジェクトの打ち合わせでは、起業に向けて定期的にメンバーが集まり、デザインの

検討や販路に関する議論が活発に行われていました。



(サークル活動の様子)

【今後の予定】

ものづくりを支える分析技術講座

日時：8月1日 (火) 15時00分～16時30分
場所：福井大学 産学官連携本部 3階会議室
内容：分析評価装置などについて理解を深めていただき、皆様の新技術の開発や品質管理への活用を目的とした分析機器講習会です。

先端材料・技術入門講座

日時：8月4日 (金) 13時30分～16時40分
場所：福井大学 産学官連携本部 I 号棟 3階研修室
内容：炭素繊維強化プラスチック (CFRP) を代表とする複合材料の技術開発や研究動向についてわかりやすく解説します。

福井大学 (JST) 新技術説明会

日時：8月29日 (火) 10時25分～15時00分
場所：JST 東京本部別館 1F ホール (東京・市ヶ谷)
内容：研究成果 (特許) の実用化 (技術移転) を目的とし、新技術や産学連携に関心のある企業関係者に向けて、研究者が直接プレゼンする特許の説明会です。

(平成 29 年 8 月 1 日発行)